

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
						聞	読	取	発	書		
後 期	10	心理学における「フロー」を理解することができる。	Supplementary Reading 1 Finding Flow	Reading for the gist and details	知 思 態	○ ○ ○	 	 	 	 	3	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ ンステスト 課題
	11	1 元アメリカ合衆国大統領バラク・オバマが被爆 地広島で行ったスピーチを理解し、この歴史的ス ピーチの意味について考えを伝え合うことができる。	Unit 7 How Can We Make a Peaceful World?	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, paragraph organization and making inferences, Retelling	知 思 態	○ ○ ○	 ○ ○	 	 	 	6	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ ンステスト 課題
	12	2 平和な未来を築くためには何が必要なのか考 え、意見を交換することができる。										
	1	1 人類が持つ共感する心はどのように生まれたの かを進化論の観点から理解し、自分の考えを伝え合 うことができる。	Unit 8 Empathy and Human Beings	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, and making inferences, Retelling	知 思 態	 ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ 	 	 	 	6
	第 3 回 考 査	第3回考査			知 思 態	○ ○ 	○ ○ 	 	 	 	 	4

3 評価の観点

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	予備知識を与えられれば、自然に近いスピードで話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある程度の長さの英文を読んで、書き手の意図、要点・概要、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合ったりするための知識・技能を身につけている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えるための知識・技能を身につけている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを多様な語句や文を用い論理的な文章構成で複数パラグラフ書くための知識・技能を身につけている。
思考・判断・表現	予備知識を与えられれば、自然に近いスピードで話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えている。	予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある程度の長さの英文を読んで、書き手の意図、要点・概要、必要な情報を目的に応じて捉えている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合っている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えている。	支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを多様な語句や文を用い論理的な文章構成で複数パラグラフ書いている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されていることを聞くとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれていることを読むとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝えようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

4 評価の方法

定期テスト、パフォーマンステスト、単語テスト、活動・課題への取り組み（ワークシート・課題などの提出を含む）

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>学習計画には各ユニットで重点目標とする4技能5領域を示していますが、基本的にはどのユニットでも全ての技能・領域を含む様々な活動を行います。1つ1つの活動のねらいを理解し、課題も含めて授業内外で主体的、自律的に英語学習に取り組んでください。違う文化を持つ人に対しても自分の意見を言えるような英語力・積極的な態度を身につけること目指します。英語学習を通じて、視野を広げ、人として成長していきましょう。</p> <p>グローバル化の社会では英語のコミュニケーション能力が求められます。また、大学入試においても実践的な英語力が問われるので、英語の知識を獲得するのはもちろん、英語の運用能力を高めていきましょう。そのためには、英語のアウトプット（話す、書く）を意識して、インプット（聞く、読む）することが大切です。英語のまま理解し、英語の発想で表現できるようになるために、授業は基本的に英語で行います。わからない語や文法表現は辞書や参考書で調べたり、本文は音読して理解を確認するなど、授業の後に復習しましょう。副教材も自分の学習に計画的に組み込んで活用することをお勧めします。</p> <p>辞書・タブレット端末の他に、授業で配布されるワークシートを整理するために各自でファイルを用意してください。課題も評価の対象になります。期限を守って提出してください。</p>
--